

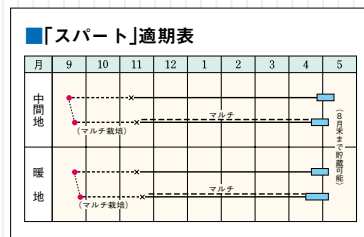
こどもの日には
新タマを収穫！
春の菜園にも間に合う！



生育旺盛で作りやすい晩抽多収の極早生種！



タキイ交配
タマネギ
「スパート」



極早生タマネギは春の訪れを告げる野菜の一つです。辛みが少なく、おいしいといったこともさることながら、市場にタマネギが少ない時期の出荷となるため、比較的高値で取引されることから魅力的な作型です。

しかしながら、極早生栽培は気候の影響を受けやすく、抽苔や分球が多発したり肥大が不十分だったり、作柄の安定しないことが多く栽培の難しい作型でもあります。特にここ数年の、極端な天候不順に悩まされた方も多いのではないのでしょうか。

このたび新発表の「スパート」は極早生品種の熟期の早さ、肉質のみずみず

しさと、早生種に近い作りやすさ、安定性を兼ね備えています。タマネギの生産者から家庭菜園愛好家まで、幅広い用途で使っていただける品種です。

品種特性

- ① 大玉でよくそろった極早生種
肥大性にすぐれ、大玉によくそろった収量性抜群の極早生品種です。暖地では4月中旬から、中間地でも4月下旬から収穫可能です。
- ② 抽苔や分球が少なく作りやすい
「スパート」は草姿立性で葉折れが少なく、生育旺盛で作りやすい特長があります。また、抽苔や分球が少なく、さらに病害に対しても比較的強いいため、安心して栽培できます。
- ③ 甲高で玉じまりがよく、青切り出荷に適する
熟期が早い品種の多くは玉がやわらかく、収穫や出荷時に玉同士がぶつか



タキイ研究農場
ばば あきら
馬場 彰



↑極早生種の中でも玉じまりがよいので、青切り出荷でも玉傷みが少ない。



↑中間地でも4月下旬から収穫できる極早生種ながら甲高形状の「スパート」。

り合い傷んでしまうことがよくあります。「スパート」は、比較的甲高で玉じまりがよいので、青切り出荷でも玉傷みの心配が少なく、安心して作業できます。

④寒さに強い

地上部の生育は旺盛で冬の寒さに対し葉傷みが少なく、低温期の肥大性にすぐれます。そのため、基本的には暖地での栽培が適しますが、中間地でも栽培することができます。

栽培ポイント

1 適期播種・適期定植を行う

「スパート」の特性を生かすには、基本に忠実な栽培を行うことが大切です。その中でも、次の3つのポイントが特に重要になります。

「スパート」の4月に収穫できるという特長を生かすためには、適期の播種・定植を心掛けてください。

早どりをねらって早まき・早植えると、生育が進みすぎて抽苔・分球の危険性が増します。また、葉枚数が多くなりすぎ、かえって熟期が遅くなったり、過繁茂によって病害が発生しやすくなったりします。

逆に播種が遅れると年内の生育が不十分になり、生育不良や肥大不足になる可能性があります。適期表を確認し、お住まいの地域に適した播種・定植適期を守ってください。

2 早春からの肥効を高める

年内の生育は抑え気味にし、早春からの肥効を高めることが良玉多収につながります。

基本はマルチ栽培で、元肥一発肥料などを使用し、全量元肥で施用し

ます。追肥を行う場合は3分の2程度を元肥とし、残りを追肥として施用します。追肥は12月下旬〜1月上旬と2月中旬を目安に2回程度行います。

肥料の遅効きは葉がちになりやすく、肥大の遅れや病害発生危険性が増すため注意が必要です。

3 早めの病害防除

「スパート」は一般的な極早生種に比べて草勢が強く、茎葉はかたくできます。そのため病害には比較的強いのですが、べと病に対しては、他の品種同様に早めの防除を心掛けて

タマネギ「スパート」栽培メモ

最適播種期	中間地	9月中下旬(露地〜マルチ)
	暖地	9月下旬(露地〜マルチ)
最適定植期	中間地	11月上中旬(露地〜マルチ)
	暖地	11月中下旬(露地〜マルチ)
施肥の目安(10a当たり)	元肥：N成分で約20〜25kgを全量、もしくは追肥する場合はその2/3を元肥とする。 追肥：全量元肥では施用せず、追肥する場合は約2回、各々N成分で約3〜5kg。	
播種基準	本圃10aに対し50〜80㎡の苗床を準備、4〜6dL播種。条まきで条間8〜10cm、播種溝の深さは6〜8mm、種子間隔は10mm程度。	
定植基準	畝幅120〜150cm、条間20〜25cm、株間10〜12cm	

タマネギ特性表

品 種 名	早晩性	収穫期	球 形	球重(g)	収量性	耐病性 ^(注1)	貯蔵性 ^(注2)
マッハ	極早生	4月中旬〜5月上旬	扁円	230	◎	◎	8月末
スパート	極早生	4月中下旬〜5月上旬	甲高	320	◎	◎	8月末
ソニック	早生	5月上中旬	甲高	320	◎	◎	8月末
アトン	中生	5月下旬〜6月上旬	豊円	600	◎	○	10月末(大玉栽培)
				350	◎	◎	12月末(貯蔵栽培)
ターボ	中生	5月下旬〜6月上旬	豊円	320	◎	◎	12月末
ネオアース	中晩生	6月上中旬	豊円	350	◎	◎	2月末〜3月
パワー	中晩生	6月上中旬	球	290	◎	◎	1月末〜2月
ケルたま	晩生	6月中下旬	中甲高	280	◎	◎	3月末

(注1) べと病、灰色腐敗病を主体とする圃場耐病性

(注2) 吊り貯蔵可能期間

ください。特に生育期間の短い極早生種は葉のダメージが玉肥大に大きく影響するため、病気を出さない予防的な防除の徹底が重要です。